

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科 スペース表現領域 教育目標・人材の養成に関する目的			スペース表現領域は新しい体系で空間の概念を捉え、歴史的な文脈や人間の本質と向き合いながら、多様な角度から空間の創造性を拡張し、豊かな社会を構想することのできるスペースクリエイター／プロデューサーの育成を教育目標とする。					
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー					
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
			アート・デザイン表現学科のディプロマポリシー					
			アートとデザインに関する基礎的知識と技能を活用する能力を身に付けている。	アートとデザインの諸活動の実践により、専門領域のみならず、他分野への興味、関心をもちながら課題に主体的に向き合い、多様な立場の人と協働しながら、発想し、表現する能力と態度を身に付けている。 時代を経ても変わらない人間の本質と向き合いながら、社会変化、環境変化、技術革新に対応し得るしなやかな精神力とメソッドを持ち合わせ、自己実現することのできる能力と態度を身に付けている。	幅広い知識を常に収集しながら多様な人と社会を観察、洞察し、人間中心の視点から時代の変化に柔軟に対応できる思考力、発想力、判断力を身に付けている。	領域横断型の実践的な学びを通じ、専門領域のみならず、他分野との中間領域を開拓するための表現力、実践力を身に付けている。		
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)		
学科共通	必修	演習	アート・デザイン表現基礎演習A	◎			◎	
		講義	宇宙・人間・アート	◎		○		
	1	必修	講義	アート・デザイン表現論	◎	◎		
		選択	講義	スペース表現概論	◎	◎		◎
		選択	講義	空間芸術史	◎	◎		◎
		選択	講義	知覚・感覚概論	◎	◎		◎
		選択	演習	アート・デザイン表現基礎演習B	◎			◎
		選択	演習	アート・デザイン表現基礎演習C	◎			◎
	1~4	選択	演習	アート・デザイン表現基礎演習D	◎			◎
		必修	講義	メディア概論	◎			
		選択	講義	ファッション&テキスタイル概論	◎		◎	
		選択	講義	ファッションデザイン史	◎			
		選択	講義	ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎	◎
		選択	講義	クリエイティブプロデュース概論	◎	◎		◎
専攻・領域専門	必修	実技	スペース基礎Ⅰ(人間工学)	◎	○	○	○	
	必修	実技	スペース基礎Ⅱ(製図)	◎	○	○	○	
	必修	実技	スペース基礎Ⅲ(フィジカルモデリング)	◎	○	○	○	
	必修	実技	テンポラリースペースⅠ	◎	○	○	○	
	必修	実技	プリミティブスペースⅠ	◎	○	○	○	
	必修	実技	イマーシブスペースⅠ	◎	○	○	○	
	必修	実技	スペース基礎Ⅳ(バーチャルモデリング)	◎	○	○	○	
学科共通	必修	演習	アート・デザイン表現演習Ⅰ	◎		◎	◎	
	必修	講義	素材・構法論	◎	◎		◎	
	必修	講義	生活様式史	◎	◎		◎	
	選択	講義	ノンリニアナラティブ	◎	◎		◎	
	選択必修	講義	国際交流文化概論A			◎		
	選択必修	講義	国際交流文化概論B			◎		
	2~4	選択	講義	メディア映像概論	◎	◎		◎
		選択	講義	メディアアート概論	◎			◎
		選択	講義	ミュージアムメディア概論	◎	◎		◎
		選択	講義	身体衣服論	◎		◎	
		選択	講義	ファッションマネジメント文化論		◎	◎	
		選択	講義	ミュージアムメディア概論	◎	◎		◎
	必修	実技	テンポラリースペースⅡ	◎	○	○	○	
	必修	実技	プリミティブスペースⅡ	◎	○	○	○	

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科 スペース表現領域 教育目標・人材の養成に関する目的			スペース表現領域は新しい体系で空間の概念を捉え、歴史的な文脈や人間の本質と向き合いながら、多様な角度から空間の創造性を拡張し、豊かな社会を構想することのできるスペースクリエイター／プロデューサーの育成を教育目標とする。					
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー					
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
			アート・デザイン表現学科のディプロマポリシー					
			アートとデザインに関する基礎的知識と技能を活用する能力を身に付けている。	アートとデザインの諸活動の実践により、専門領域のみならず、他分野への興味、関心をもちながら課題に主体的に向き合い、多様な立場の人と協働しながら、発想し、表現する能力と態度を身に付けている。 時代を経ても変わらない人間の本質と向き合いながら、社会変化、環境変化、技術革新に対応し得るしなやかな精神力とメソッドとを持ち合わせ、自己実現することのできる能力と態度を身に付けている。	幅広い知識を常に収集しながら多様な人と社会を観察、洞察し、人間中心の視点から時代の変化に柔軟に対応できる思考力、発想力、判断力を身に付けている。	領域横断型の実践的な学びを通じ、専門領域のみならず、他分野との中間領域を開拓するための表現力、実践力を身に付けている。		
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)		
専攻・領域専門	必修	実技	2	イマーシブスペースⅡ	◎	○	○	○
	必修	実技		テンポラリースペースⅢ	○	○	○	◎
	必修	実技		プリミティブスペースⅢ	○	○	○	◎
	必修	実技		イマーシブスペースⅢ	○	○	○	◎
	必修	実技		ヒューマンスペースⅠ	○	○	◎	○
学科共通	必修	演習	3	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎	◎	
	必修	演習		アート・デザイン表現演習Ⅲ		◎	◎	
	必修	講義		芸術社会論	◎		◎	
	必修	講義		空間思想論	◎	◎		◎
	選択	講義	3～4	メディア文化論特講	◎			
	選択	講義		メディアマネージメント論	◎	◎		◎
	選択	講義		心と身体の科学	◎			
	選択	講義		心とアートの心理学			◎	
専攻・領域専門	必修	実技	3	ヒューマンスペースⅡ	○	○	◎	○
	必修	実技		ヒューマンスペースⅢ	○	○	◎	○
	必修	演習		プロジェクトプロデュース演習Ⅰ	○	◎	○	○
	必修	実技		3年ゼミナール	○	◎	○	○
専攻・領域専門	必修	実技	4	4年ゼミナール	○	○	○	◎
	必修	演習		プロジェクトプロデュース演習Ⅱ	○	◎	○	○
	必修	実技		卒業制作	○	○	○	◎